

『広重と行く旅模様 街道絵を楽しむ』



歌川広重
「木曾海道六拾九次之内 下諏訪」

大判錦絵揃物の内 天保8年(1837)頃
錦樹堂(伊勢屋利兵衛)版

6月9日(木)から開催中の企画展「木曾義仲と源平合戦の世界」は、おかげさまでたくさんのお客様をお迎えています。これに引き続き開催するのが、7月22日スタートの「広重と行く旅模様 街道絵を楽しむ」です。

「水杯^{みずさかずき}を交わしてから出掛けたものだ」と、しばしば伝えられている通り、ごく普通の江戸時代の人々にとって旅をするのは、一生に一度のイベントだったことでしょう。そして列車や飛行機^{はたこ}の存在を当たり前のように感じてしまっている現代では、もはや想像すらできませんが、その昔の旅は徒歩が基本でした。

そんな江戸の旅をフォローしたのは、交通手段としての駕籠や馬。また充実した旅籠や、名産品を買い求めることができる売店、土地の名産を食することができる茶店などでした。

本展では、これらいわば旅に潤いをもたらすアイテムを始め、旅をするさまざまな人々、その土地ならではの名所、名物などを描いた作品を展示します。江戸時代の旅の様子を見ると、昔の旅の厳しさを感じることでしょう。でも同時に「今度は少しゆっくりとした旅を試みようか」と思えるかも知れません。現代人が求めるスローライフの原点を、きっとここから見つけることができるはずです。

7月22日(金)～8月28日(日)

毎週月曜日休館

会期終了後、8月29日(月)～31日(水)まで展示替え休館します。

関連イベントがあります。20分をご覧ください。

次号は7月15日号

発行日は7月15日(金)です

広報えな No.16

2005年(平成17年)7月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 秘書広報課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

編集後記

普段、道を歩いていたり、車を運転していたりして、「ひやっ」としたことはありませんか。歩いてみると、すごいスピードで横を通り過ぎる自動車やバイク、横断歩道以外を横切る歩行者など。広報担当になつて外に出る機会が増え、いろいろな場面を目にするようになりました。

7月11日から「夏の交通安全県民運動」が始まります。今年のスローガンは「ゆずりあう心で夏の交通事故防止」。一人ひとりが交通規則を守り、心にゆとりを持って行動すれば、譲り合う気持ちが自然と生まれ、交通事故も減るのでは。

何事にもぎりぎりではなく、余裕を持って行動したいと改めて感じました。